

町立三春病院ニュース

●●医療相談室の仕事●●

現在、町立三春病院医療相談室では2名の職員が業務を行っています。(社会福祉士、精神保健福祉士の有国家資格者) 日常業務の主な内容は、介護保険の申請や福祉資源に関することなどです。

<主な相談内容>

- ① 医療費の支払いに関すること
- ② 療養生活に関すること
- ③ 退院後の生活に関すること

療養中の問題や退院後の生活の不安など様々な相談に応じています。

相談にあたっては、プライバシーに配慮し、秘密は厳守致します。相談がある方は、受付窓口や外来、病棟ステーションなどでお気軽にお声かけください。



社会福祉士：加藤

精神保健福祉士：土屋

◆相談時間 9:00～12:00、13:00～17:00

◆相談窓口 受付窓口、外来窓口、病棟ステーション

〇〇社会福祉士、精神保健福祉士について〇〇

【社会福祉士】

安心して治療が受けられるように、社会福祉の視点から生活環境を整え、支援する仕事です。

生活上の困難や不安の相談に応じ、情報提供や各種手続きの利用援助等を行い、患者さん・ご家族と一緒に問題解決を目指します。また、転院やサービス利用を円滑に進めるため、院内・院外との連絡・調整を行っています。

【精神保健福祉士】

主に精神障がい者やその家族を対象に、治療や療養上発生するさまざまな問題に対し、社会福祉の視点から相談・援助を行っています。精神障がい者の社会参加・家族支援にも力を注いでいます。



〇〇医療と介護の関わりについて〇〇

入院中は医療保険を適用しての入院となりますが、退院後、自宅で生活される場合や施設を利用される場合には、介護保険を適用してさまざまなサービスを受けることが可能となります。(※ 介護保険サービスを利用するためには、まず町に申請し介護認定を受ける必要があります。)

医療と介護の継ぎ目のない生活をお送りいただけるよう、リハビリテーションを退院後も続けることができるよう支援してまいります。



かつさい教授の 家庭医療だより



三春町のみなさん、お元気ですか。★9月です。あまりぱっとしなかった今年の夏でしたが、これから季節の変わり目ですので、変わりやすい天気と気温に気をつけて下さい。★みなさんは映画を観るのは好きですか。私は昔から映画が好きで、学生時代には年間200本ぐらいを映画館で観ていました。裕福な学生ではなかったので新作のロードショーを観ることはほとんどありませんでした。名画座のようなところで2本立て500円とかオールナイトで5本まとめて観るとかしたものです。★最近「潜水服は蝶の夢を見る」というフランス・アメリカ合作の映画を見ました。有名な雑誌「Elle」の編集長が脳卒中発作を起こし、意識や脳の高次機能は保たれているのに目のまばたきでしかコミュニケーションの手段がない状態(ロックイン症候群)に陥ってしまう話です。★病気になった患者さんからの「視点」が克明に描写され、いつもは医療者の視点でものごとを見ていた私の気持ちを大きく揺さぶりました。その揺さぶりはやがて大きな感動になっていったのです。★このように映画は、自分が普段見えないものを見せてくれます。同じものでも別の視点から見せてくれます。医療者の視野を広げる教育に映画を見ることが役に立つのです。このことについては、また別の機会にお話ししましょう。この秋、良い映画が上演されますように！

【福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療部 教授 葛西龍樹】